

## 山形県立図書館活性化推進計画（仮称）の「Ⅳ 取組み方策（素案）」

※「・」：主な取組み例

**ときめく図書館 ～学びの意欲を喚起する空間の提供～**

【本との出会いを演出し、賑わいの拠点となる空間づくり】

- ① 図書館機能を活用し、多様な主体と連携して実施する賑わいの創出
  - ・本をとおして全ての世代の県民が集い、学び、交流する賑わいの拠点機能の発揮
- ② 知的探究心を刺激し、来館のきっかけとなる企画の実施
  - ・社会情勢・時節を捉えたタイムリーな企画展示をはじめ、県民と資料等を結ぶ多様な企画展示や講座等の開催
  - ・オンラインを活用したハイブリッドな講座や新規性のある企画の試行と実践
- ③ 図書館の魅力を伝える企画展示やイベント等の開催
  - ・大規模改修により新規・拡充した施設機能を活かすイベント等の開催
  - ・図書館を利用する楽しさや魅力を伝える周知広報の充実
- ④ 縣人文庫の展示の充実
  - ・常設する縣人文庫の展示内容の充実
  - ・縣人文庫展示者以外の先人の資料収集と次代を見据えた活用の検討
- ⑤ 遊学館内の施設や近接する施設との連携による生涯学習の拠点機能の充実
  - ・県都の中心地域に位置し、生涯学習の複合施設に所在する特性を活かした企画展示やイベント、情報発信の充実
- ⑥ 県立図書館職員の専門性と接遇力の向上

【乳幼児から高齢者まで生涯にわたり利用できる図書館づくり】

- ① 乳幼児期からの利用促進と読育の推進
  - ・物語への興味を喚起する読み聞かせや紙芝居、ストーリーテリング等を関係団体と連携して実施するなど子どもの成長に応じた継続的な読育の推進
  - ・赤ちゃん休憩室など子育て世代が利用しやすい快適な環境づくり
- ② 児童・生徒の利用促進
  - ・図書館見学の受入れやティーンズコーナーの充実等による図書館の利用促進
  - ・ふるさとを学び、大切にすることを育むイベントや企画展示等の充実
  - ・学校図書館と連携した県立図書館の活用方法等の周知広報
- ③ ビジネス及びリカレント等の支援
  - ・就職、転職、職業能力開発及び仕事やビジネスに役立つ情報の充実と提供
  - ・UI ターンなど移住者に役立つ情報の充実と提供
- ④ 県民の読書活動の推進
  - ・春や秋の読書週間における企画展示等による、本に親しみ読書を楽しむ県民意識の醸成
- ⑤ ユニバーサルデザインの視点に立ち、快適かつ安全安心に利用できるサービスの推進
  - ・「読書バリアフリー法」の理念を踏まえたサービスの推進
  - ・新しい生活様式の実践など安心かつ快適な環境づくり
  - ・防火防災訓練の実施など危機管理への対応力の維持・向上

## たよれる図書館 ～県民を支える資料の収集・活用と県内図書館との連携強化～

### 【県民の暮らしや課題解決、調査研究を支援する蔵書づくり】

- ① 全世代の県民の学びと希望の実現を支援する資料の充実
  - ・長期的な視点に立ち、県民から必要とされる資料を厳選して収集するための選書方針等の定期的な見直し
  - ・市町村図書館や学校図書館で所蔵しづらい専門書について、連続性や関連性等を勘案し体系的に収集
- ② 「山形県に関する資料は県立図書館にある」ことを目指した郷土に関する資料の収集・保存とその効果的な活用
  - ・郷土に関する資料について、新刊の収集と未所蔵資料の積極的な遡及収集
  - ・企業や学校等の記念誌、県民の自伝等について、寄贈の積極的な働きかけ
  - ・県域における資料保存のセンター的機能の継続と地域内の円滑な相互協力の支援
- ③ 身近な課題の解決を支援する資料の充実と活用
  - ・健康・医療や子育て、ビジネスなど利用者の身近な課題の解決を支援する資料の充実
  - ・豊富な蔵書やオンラインデータベースを活用したレファレンスの実施
- ④ 安全安心に役立つ資料の収集保存と活用
  - ・関係機関との連携による県内の災害記録等の積極的な収集と防災・減災等への活用
  - ・大規模災害時等における県内図書館の運営状況の把握と情報発信
- ⑤ 県内地方公共団体の政策決定や行政事務に必要な資料・情報の収集と提供

### 【県内図書館全体のサービス充実に向けた県立図書館の役割の発揮】

- ① 県立図書館の特性や役割を踏まえた県内図書館への支援の充実
  - ・セット貸出、一括特別貸出等について、ニーズや課題を踏まえたサービスの充実
  - ・図書館運営やレファレンス等に関する相談への対応と情報交換の場づくり
  - ・学校教育研究会図書館部会等と連携協力した学校図書館への支援の充実
- ② 県内図書館を支える職員等の研修の充実
  - ・受講ニーズを踏まえた専門性の高い研修の実施
  - ・学校図書館の図書委員に対する研修等への協力
- ③ 市町村図書館及び学校図書館との連携による重層的な図書館サービスの充実
  - ・県内図書館との連携による企画展示やイベント等の充実
  - ・県立図書館で実施した企画展示をまるごと貸し出すサービス等の充実
- ④ ウェブ会議システム等の活用による新たな連携の推進
  - ・各図書館が開催する講座等のイベントをウェブ会議システムで繋ぎ、情報発信効果や参加者の利便性を向上
  - ・ウェブ会議システムを利用したリモート研修の積極的に実施し、連携に要する時間と距離の負担を軽減
- ⑤ 県外図書館等とのネットワークの推進
  - ・全国的ネットワークの地域拠点機能を果たし、県外図書館等の情報収集と県内図書館等への情報提供

## つながり・ひろがる図書館～デジタル化と連携協働によるサービスの充実～

### 【インターネットを活用した利便性の向上とデジタル化の推進】

- ① インターネットによる情報発信の更なる強化
  - ・スマートフォンからの閲覧や利用がしやすいホームページシステムの構築
  - ・ターゲットを明確にし、ホームページや SNS、動画の特性を活かした発信の強化
- ② 非来館型サービスの周知広報と利便性向上
  - ・遠隔地からでも必要な図書資料が円滑に利用できるよう、インターネット予約サービスや市町村図書館との連携による受取返却、図書宅配サービス等の周知広報の強化
  - ・インターネット予約サービスや図書宅配サービスの利用促進を図るため、市町村に出向き利用者カードを作成するなど遠隔地域へのサービスの充実
- ③ オンラインデータベースの活用の推進
  - ・国立国会図書館が提供する図書館向けデジタル化資料送信サービスや NDL サーチ等の活用促進と周知広報の強化
  - ・「ジャパンサーチ」と連動した取組みの展開
- ④ 長期保存対策による貴重な利活用の推進
  - ・劣化が著しく代替資料がない郷土資料のデジタル化と ICT を活用した公開・活用
  - ・学校における ICT 環境の進展に対応する郷土資料の活用の検討
- ⑤ レファレンスデータベースの充実
  - ・県内図書館等と連携したレファレンス事例の充実
  - ・図書館業務システムのレファレンス機能や国立国会図書館のレファレンス協同データベースの活用したレファレンスの効率化
- ⑥ 電子書籍サービスの検討
  - ・情報端末の普及や教育の情報化、読書バリアフリー法の施行及び感染症の対策など外部環境の大きな変化を踏まえた対応の検討

### 【連携・協働によるサービスの充実】

- ① 県民や団体等との連携・協働によるサービスの充実
  - ・図書資料の排架や書架の整理、企画展示やイベントの実施・補助、図書館情報の発信など図書館の業務を幅広く支援する運営協力サポーター制度(仮称)の創設
- ② 協働による賑わいづくりの推進
  - ・協働の賑わいづくりを促進するための情報共有・意見交換の場づくり
  - ・生涯教育に関する団体の活動や県民の学習の成果等を発揮する場の提供
- ③ 次代に引き継ぐ郷土資料の積極的な寄贈受入
  - ・貴重な郷土資料や散逸が危惧される資料等の積極的な寄贈受入れ
  - ・社史や記念誌等に関する幅広い寄贈の呼びかけ
- ④ ふるさと納税制度や雑誌スポンサー制度を活用した図書館機能の充実
- ⑤ 県民のニーズや意見をくみ取る広聴と施設運営
  - ・利用者アンケートや企画・講座・イベントの参加者アンケートの実施と活用
  - ・機会を捉えた未利用者や非来館者からの意見聴取
  - ・利用者の自発的なマナー向上を働きかけるキャンペーン等の実施